

健康栄養学科

井澤幸子

B(論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. Accumulation of geriatric conditions is associated with poor nutritional status in dependent older people living in the community and in nursing homes (査読付)	共著	2014年 1 月	Geriatr Gerontol Int.2014 Jan;14(1)	Hirose T, Hasegawa J, Izawa S, Enoki H, Suzuki Y, Kuzuya M.	pp.198-205
2. Factors associated with deterioration of Mini Nutritional Assessment-Short Form status of nursing home residents during a 2-year period (査読付)	共著	2014年 1 月	The Journal of Nutrition, Health and Aging 2014;18(4)	Izawa S, Enoki H, Hasegawa J, Hirose T, Kuzuya M.	pp.372-377
D (学会発表等)					
演題の名称	発表 形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 特別養護老人ホーム入所高齢者の前向き研究—2年間の予後指標としての MNA-SF の有用性について	学会 発表	2014年 6 月	第56回日本老年医学会 学術集会 福岡におい て	井澤幸子, 広瀬貴久, 長谷川潤, 榎裕美, 葛谷雅文	
2. 在宅療養高齢者における食欲と生命予後との関連について	学会 発表	2014年 6 月	第56回日本老年医学会 学術集会 福岡におい て	榎裕美, 広瀬貴久, 長谷川潤, 井澤幸子, 井口昭久, 葛谷雅文	
3. 要介護高齢者の薬剤服用数の集積と入院, 死亡リスクとの関係	学会 発表	2014年 6 月	第56回日本老年医学会 学術集会 福岡におい て	広瀬貴久, 辻典子, 井澤幸子, 榎裕美, 長谷川潤, 鈴木裕介, 葛谷雅文	
4. 大学生の食生活の実態と意識・習慣との関連についての検討	学会 発表	2014年 6 月	第61回日本栄養改善学 会学術総会 横浜にお いて	恒川小百合, 井澤幸子	

市原啓子

B (論 文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. マウスにおけるビタミン A 欠乏とミッドカインの発現についての研究	共著	2014年 3 月	心身科学第6巻第1号	坂本祥子, 市原啓子, 望月美佳, 村松壽子	pp.1-8
2. プレバチルス発現系によるエンビジン組換えタンパク質の発現と精製	単著	2014年 3 月	心身科学第6巻第1号		pp.119-124

上野有紀

A (著 書)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 栄養科学ファウンデーションシリーズ 5. 食品学	共著	2014年 4 月	朝倉書店	和泉秀彦, 三宅義明, 館和彦編著 3.3 脂質 上野有紀 3.7 嗜好成分・有害成 分 上野有紀	pp.26-30 (3.3 脂質) pp.48-58 (3.7 嗜好成 分・有害成分)

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 新規カシス抽出物の肥満・糖尿病における効果	学会発表	2013年11月	第18回日本フードフアクター学会学術集会, 東京	上野有紀, 濱田愛, 田中麻奈未, 近藤晴香, 有田麻里絵, 瀧本陽介, 大澤俊彦	
2. 新規カシス抽出物の肥満・糖尿病における作用機構の解析	学会発表	2014年3月	日本農芸化学会2014年度(平成26年度)大会, 神奈川県川崎市	上野有紀, 濱田愛, 田中麻奈未, 近藤晴香, 有田麻里絵, 瀧本陽介, 大澤俊彦	

宇野智子

A (著書)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. “治せる”医師をめざす はじめての漢方100方剤 第I部 最頻用漢方方剤20 17 防風通聖散 第II部 頻用漢方方剤30 47 防己黄耆湯	共著	2013年12月	診断と治療社	宇野智子, 佐藤祐造	pp.66-69, 182-185
2. ヴィジュアル糖尿病臨床のすべて 食事療法と運動療法—その理論と実践 運動療法の目的, 効果, エビデンス	共著	2014年3月	中山書店	佐藤祐造, 宇野智子, 北村伊都子	pp.168-175

B (論文)

著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 健常大学生における朝の豆腐・納豆が昼の米飯摂取後の食後血糖に及ぼす影響	共著	2013年12月	愛知学院大学論叢 心身科学部紀要第9号	末田香里, 酒井映子, 宇野智子, 佐藤祐造	pp.31-38
2. 健常大学生における朝の豆腐・納豆の血糖上昇抑制効果	共著	2014年3月	愛知学院大学心身科学研究所紀要「心身科学」第6巻第1号	末田香里, 宇野智子, 酒井映子, 佐藤祐造	pp.55-60

D (学会発表等)

演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 肥満誘発性2型糖尿病モデルラットにおける運動と防風通聖散がインスリンシグナル伝達系に及ぼす影響	共著	2013年10月	第34回日本肥満学会, 京都	小林亮平, 宇野智子, 佐藤祐造	
2. 管理栄養士および歯科衛生士を目指す学生のライフステージ別間食に対する意識	共著	2013年10月	第72回日本公衆衛生学会, 津	宇野智子, 犬飼順子	
3. 栄養士管理と歯科衛生士を目指す学生のライフステージ別間食の食品・栄養に対する意識	共著	2013年10月	第72回日本公衆衛生学会, 津	犬飼順子, 宇野智子	
4. 第72回日本公衆衛生学会ポスター演題(座長)	司会	2013年10月	第72回日本公衆衛生学会, 津		
5. 健康管理の必要性	講演会	2013年7月, 9月	一般社団法人愛知県トラック協会		

大澤俊彦

A (著書)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 未病診断とバイオマーカー, ニュートリゲノミクスを基盤としたバイオマーカーの開発—未病診断とテラーメイド食品開発に向けて—(大澤俊彦, 合田敏尚監修シーエムシー出版)	単著	2013年	シーエムシー出版		pp.11-20

2. Lipid Hydroperoxide-Derived Adduction to Amino-Phospholipid in Biomembrane, in Lipid hydroperoxide-derived modification of biomolecules (Kato, Y. ed)	共著	2014年	Springer (London)	Hisaka, S., <u>Osawa, T.</u> ,	pp.41-48
3. Amido-type Adduct of Dopamine-Plausible Cause of Parkinson Diseases, in Lipid hydroperoxide-derived modification of biomolecules (Kato, Y. ed)	共著	2014年	Springer (London)	Liu, X., Yamada, N. and <u>Osawa, T.</u>	pp.49-60
4. Role of lipid peroxide in the neurodegenerative disorders, in Lipid hydroperoxide-derived modification of biomolecules (Kato, Y. ed)	共著	2014年	Springer (London)	Maruyama, W., Shamoto-Nagai, M., Kato, Y., Hisaka, S., <u>Osawa, T.</u> , Naoi, M.	pp.127-136
5. Low-Cost and Easy to Use "on-Chip ELISA" for Developing Health-Promoting Foods, in Lipid hydroperoxide-derived modification of biomolecules (Kato, Y. ed), Springer, London (2014)	共著	2014年	Springer (London)	Hoshino, F., Watanabe, O., Wu, X., Takimoto, Y. and <u>Osawa, T.</u>	pp.151-161
B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 超簡単フードファクター (第5回 カロテノイド)	単著	2013年10月	アンチエイジング医学—日本抗加齢医学会雑誌, 9 (5)		pp.77-82
2. 超簡単フードファクター (第6回 イオウ化合物)	単著	2013年12月	アンチエイジング医学—日本抗加齢医学会雑誌, 9 (6)		pp.77-83
3. Effects of supplementation with tetrahydrocurcumin and branched-chain amino acids on glucose tolerance and muscle protein content in mature rats	共著	2014年	J. Phys Fitness Med. 2 (4)	Mochizaki, M., Takayanagi, H., Yamada, S., <u>Osawa, T.</u> , Kitaura, Y. and Shimomura, Y.	pp.509-513
4. Stereochemical determination of O-desmethylangolensin produced from daizein	共著	2014年	Food Chem., 171	2. Niwa, T., Yokoyama, S., Matsugasaki, N., Inomata, E., Taira, A., <u>Osawa, T.</u> ,	pp.153-156
5. 発酵で変わる機能性成分のパワー	単著	2013年11月	Food Style 21, 17 (11)		pp.42-47
6. ゴマリグナンによる神経変性疾患予防機能	単著	2013年12月	Functional Food, 7 (2)		pp.90-96
C (翻訳・資料)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 健康長寿と機能性食品①「和食おいしく無駄なく」	単著	2014年9月	中日新聞一連載特集「味な提言」		
2. 健康長寿と機能性食品②「大豆に疾病予防成分」	単著	2014年9月	中日新聞一連載特集「味な提言」		
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 抗酸化フードファクターと脳内老化	シンポジウム講演	2013年10月	「日台機能性食品の研究と産業の開発」シンポジウム, 京王プラザホテル札幌 (北海道)	大澤俊彦	
2. 機能性食品の現状と将来展望	基調講演	2013年10月	静岡フーズサイエンスフォーラム, AXIS かつらぎ (静岡県伊豆の国市)	大澤俊彦	

3. ESR によるキノコのラジカル分析	学会 発表	2013年10月	電子スピンサイエンス 学会(SEST2013), 大宮	菅野友美, 原田栄津子, 亀谷宏美, 鶴飼光子, 大澤俊彦	
4. 機能性おやつ素材開発への提言	招待 講演	2013年10月	「日本を健康にする！ 研究会」, とかちプラザ レインボーホール (北海道帯広市)	大澤俊彦	
5. Health promoting power in tea varieties as revealed by optical multimode monitoring of innate immune responses in neutrophils.	学会 発表	2013年11月	The 5th International Conference on O-Cha (Tea) culture and science (ICOS2013), Shizuoka.	Kazumura K, Maeda-Yamamoto M, Wu X, <u>Osawa T.</u>	
6. Radical scavenging ability of hot water extracts from mushrooms by ESR spin trapping.	学会 発表	2013年11月	日本フードファクター 学会 (JSoFF2013), 東京	Kanno T, Okamoto Y, Harada E, Kameya H, Ukai M, <u>Osawa T.</u>	
7. 新規カシス抽出物の肥満・糖尿病における効果	学会 発表	2013年11月	第18回日本フードファ クター学会学術集会 (JSoFF2013) (東京都)	上野有紀, 濱田愛, 田中麻奈未, 近藤晴香, 有田麻里絵, 瀧本陽介, 大澤俊彦	
8. 食品の機能性成分でこの頃明らかになってきたこと	講師	2013年11月	鈴鹿医療科学大学市民 公開講座(三重県)	大澤俊彦	
9. 医食農連携と地場産農作物の活用	基調 講演	2013年12月	平成25年度東海地域食 料自給率向上研究会 (名古屋)	大澤俊彦	
10. 抗酸化フードファクターの機能解明と応用	基調 講演	2014年 3 月	薬食同源による健康研 究センター平成25年度 研究発表会(名古屋)	大澤俊彦	
11. 自然免疫応答を用いた新規食品機能性評価法で判明した茶類の機能性	学会 発表	2014年 3 月	日本農芸化学会2014年 度大会(東京)	數村公子, 山本(前田)万里, 里園浩, 吳曉紅, 土屋広司, 小池隆, 岡崎茂俊, 大澤俊彦	
12. 新規カシス抽出物の肥満・糖尿病における作用機構の解析	学会 発表	2014年 3 月	日本農芸化学会2014年 度大会(東京)	上野有紀, 濱田愛, 田中麻奈未, 近藤晴香, 有田麻里絵, 瀧本陽介, 大澤俊彦	
13. 健康長寿と攻めの栄養学	講演	2014年 7 月	クラブ東海講演会	大澤俊彦	
14. キノコ粉末添加ボーロの澱粉特性とESR解析	学会 発表	2014年 8 月	日本食品科学工学会第 61回大会(博多)	菅野友美, 山本久美子, 原田栄津子, 亀谷宏美, 鶴飼光子, 大澤俊彦	
15. 自然免疫応答を用いた新規食品機能性評価法で判明したアスタキサンチンの機能性	学会 発表	2014年 8 月	日本食品科学工学会第 61回大会(博多)	數村公子, 望月美佳, 佐藤由紀子, 土屋広司, 小池隆, 吳曉紅, 岡崎茂俊, 大澤俊彦	
16. 機能性食品におけるエビデンスの重要性	基調 講演	2014年 9 月	“Japan Analytical & Scientific Instruments Show” コンファレンス	大澤俊彦	
17. 好中球の自然免疫応答を用いた新規食品機能性評価法で判明したアスタキサンチンの機能性	学会 発表	2014年 9 月	第10回アスタキサンチ ン研究会(札幌)	數村公子, 望月美佳, 佐藤由紀子, 土屋広司, 小池隆, 吳曉紅, 岡崎茂俊, 大澤俊彦	

北川千加良

D (学会発表等)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. おいしく学ぼう健康料理	講座	2014年 6月	日進市市民協働課「健康料理講座」, 日進市	北川千加良	
2. 園児の家庭における食育実践に関わる保護者の知識や意識の影響	学会発表	2014年 8月	第61回日本栄養改善学会学術総会, 横浜	酒井映子, 森岡亜有, 内藤正和, <u>北川千加良</u> , 末田香里	
3. おいしく学ぼう健康料理	講座	2014年 9月	日進市市民協働課「健康料理講座」, 日進市	北川千加良	

酒井映子

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 健常大学生における朝の豆腐・納豆食が昼の米飯摂取後の食後血糖に及ぼす影響—大豆製品のセカンドミール血糖上昇抑制効果(2)—	共著	2013年12月	愛知学院大学論叢 心身科学部紀要 第9号	末田香里, 酒井映子, 宇野智子, 佐藤祐造	pp.31-38
2. 健常大学生における朝の豆腐, 豆乳の血糖上昇抑制効果—摂取タイミングの検討—	共著	2014年 3月	愛知学院大学心身科学研究所紀要 心身科学第6巻第1号	末田香里, 宇野智子, 酒井映子, 佐藤祐造	pp.55-60
3. 児童の肥満および痩身の実態と生活習慣との関連	共著	2014年 3月	愛知学院大学心身科学研究所紀要 心身科学第6巻第1号	酒井映子, 森岡亜有, 内藤正和, 末田香里, 佐藤祐造	pp.99-108
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 保育所・幼稚園における食育と評価～こどもの健全な成長をめざして～	講演会	2013年10月	平成25年度 食育指導者研修会恵那保健所, 恵那	酒井映子	
2. 第4回こども食育発表会 食育意見交換会「食育でこんなことを大事にしています」	コーディネーター	2014年 2月	高浜市こども食育推進協議会, JA あいち中央高浜支店, 高浜	酒井映子	
3. 大学生活と食事「コンビニ・外食はダメ?」	講義	2014年 3月	スポーツ推薦入学者オリエンテーション	酒井映子	
4. 心と身体のリフレッシュ～食事の自己管理～食事評価と野菜のとり方について	講義	2014年 7月	平成26年度 教員免許状更新講習 講座 B3	酒井映子	
5. 平成26年度 愛知県学校給食献立コンクール	審査委員長	2014年 8月	愛知県教育委員会, (公)愛知県学校給食会, ウィルあいち, 名古屋	酒井映子	
6. 園児の家庭における食育実践に関わる保護者の知識や意識の影響	学会発表	2014年 8月	第61回日本栄養改善学会, 横浜	酒井映子, 森岡亜有, 内藤正和, <u>北川千加良</u> , 末田香里	
7. 米飯の食後血糖に及ぼす牛乳摂取時刻の検討—米飯の15分前, 同時および15分後の牛乳摂取の比較—	学会発表	2014年 8月	第61回日本栄養改善学会, 横浜	末田香里, <u>酒井映子</u>	
8. 公衆栄養・栄養疫学(6)大学生・成人期	一般演題座長	2014年 8月	第61回日本栄養改善学会, 横浜	酒井映子	

坂本祥子

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. マウスにおけるビタミンA欠乏とミッドカインの発現変化についての研究	共著	2014年3月	心身科学, 第6巻1号	坂本祥子, 市原啓子, 望月美佳, 村松壽子	pp.1-8

末田香里

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 健常大学生における朝の豆腐・納豆食が昼の米飯摂取後の食後血糖に及ぼす影響—大豆製品のセカンドミール血糖上昇抑制効果(2)—	共著	2013年12月	愛知学院大学論叢 心身科学部紀要 第9号	末田香里, 酒井映子, 宇野智子, 佐藤祐造	pp.31-38
2. 健常大学生における朝の豆腐, 豆乳の血糖上昇抑制効果—摂取タイミングの検討—	共著	2014年3月	愛知学院大学心身科学研究所紀要 心身科学第6巻第1号	末田香里, 宇野智子, 酒井映子, 佐藤祐造	pp.55-60
3. 児童の肥満および痩身の実態と生活習慣との関連	共著	2014年3月	愛知学院大学心身科学研究所紀要 心身科学第6巻第1号	酒井映子, 森岡亜有, 内藤正和, 末田香里, 佐藤祐造	pp.99-108
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称・開催地	発表者	該当頁
1. 園児の家庭における食育実践に関わる保護者の知識や意識の影響	学会発表	2014年8月	第61回日本栄養改善学会, 横浜	酒井映子, 森岡亜有, 内藤正和, 北川千加良, 末田香里	
2. 米飯の食後血糖に及ぼす牛乳摂取時刻の検討—米飯の15分前, 同時および15分後の牛乳摂取の比較—	学会発表	2014年8月	第61回日本栄養改善学会, 横浜	末田香里, 酒井映子	

恒川小百合

D (学会発表等)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 大学生の食生活の実態と意識・習慣との関連についての検討	学会発表	2014年8月	日本栄養改善学会	井澤幸子, 恒川小百合	

望月美佳

B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. Effects of long-term supplementation with tetrahydrocurcumin and branched-chain amino acids on glucose tolerance and muscle protein content in mature rats	共著	2013年11月	The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine, 2 (4), 2013	Mochizuki M, Takayanagi H, Yamada S, Osawa T, Kitaura Y, Shimomura Y	pp.509-513
2. マウスにおけるビタミンA欠乏とミッドカインの発現変化についての研究	共著	2014年3月	心身科学, 第6巻, 第1号	坂本祥子, 市原啓子, 望月美佳, 村松壽子	pp.1-7
D (学会発表等)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 自然免疫応答を用いた新規食品機能性評価法で判明したアスタキサンチンの機能性	学会発表	2014年8月	第61回日本食品科学工学会	数村公子, 望月美佳, 佐藤由紀子, 土屋広司, 小池隆, 呉暁紅, 岡崎茂俊, 大澤俊彦	

2. 好中球の自然免疫応答を用いた新規食品機能性評価法で判明したアスタキサンチンの機能性	学会発表	2014年9月	第9回アスタキサンチン研究会	數村公子, 望月美佳, 佐藤由紀子, 土屋広司, 小池隆, 呉暁紅, 岡崎茂俊, 大澤俊彦	
--	------	---------	----------------	---	--

森 圭子

A (著書)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 運動療法	共著	2014年9月	診断と治療9 特集 糖尿病治療2014	佐藤祐造, 森圭子	pp.1307-1313
B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 増加しない野菜摂取量の増加の検討(2報)―大規模地産地消施設(LPLC)消費者とスーパーマーケット(SM)消費者の比較―	単著	2014年3月	心身科学, 第6巻第1号	森圭子	pp.109-118
D (学会発表等)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. 平成25年度介護予防事業「つるかめ教室」第4回「シニアの食生活」	講話	2013年10月	名古屋市昭和保健所	森圭子	
2. 平成25年度介護予防事業「つるかめ教室」第5回「シニアの食生活」	講話	2013年11月	名古屋市昭和保健所	森圭子	
3. 平成25年度東海農政局と愛知学院大学の連携取組「東海地域自給率向上研究会」	連携主催	2013年12月	愛知学院大学	森圭子	
4. 平成26年度東海農政局と愛知学院大学の連携取組「東海地域自給率向上研究会」研究発表3報(大学生に対するごはん食のススメの検討, 高齢者の食に対応するスープジャーの活用, 米粉商品のレシピ開発)	研究発表	2013年12月	愛知学院大学	公衆栄養学ゼミナール 学生, 森圭子	
5. 平成25年度介護予防事業「つるかめ教室」第6回「シニアの食生活」	講話	2014年1月	名古屋市昭和保健所	森圭子	
6. 瀬戸市地産地消推進計画策定に関する現地調査	調査	2014年2月	瀬戸地域アグリカルチャー推進協議会より派遣, 富士見市・高崎市・魚沼市	森圭子	
7. 平成25年度介護予防事業「つるかめ教室」第7回「シニアの食生活」	講話	2014年3月	名古屋市昭和保健所	森圭子	
8. 東海農政局における農村振興施策に関する選定審査委員会	会議	2014年3月	東海農政局	森圭子	
9. 平成26年度名古屋市東保健所「介護予防事業」第1回「シニアのための楽々お食事サロン」	講話	2014年5月	名古屋市東保健所	森圭子	
10. 第2回地産地消に関する瀬戸市農産物活用調査検討会議	会議 座長	2014年5月	瀬戸市	森圭子	
11. 第3回日本栄養改善学会東海支部会学術総会 C 会場一般演題 I, 1C-1~1C-4	学会座長, 口頭発表	2014年6月	第3回日本栄養改善学会東海支部会学術総会, 鈴鹿市	森圭子	
12. 第3回地産地消に関する瀬戸市農産物活用調査検討会議	会議 座長	2014年6月	瀬戸市	森圭子	
13. 平成26年度東海農政局「食と地域の交流促進等交付金」評価委員会(第1回)と現地視察(各務原市市民農園)	会議, 現地視察	2014年7月	東海農政局, 各務原市	森圭子	
14. 第4回地産地消に関する瀬戸市農産物活用調査検討会議	会議 座長	2014年7月	瀬戸市	森圭子	

15. 平成26年度第1回東海農政局における農村振興施策に関する交付金(都市農村共生・対流総合対策・「農」ある暮らしづくり)評価委員会, NPO 法人日進野菜塾意見交換・現地調査	会議, 現地調査	2014年7月	東海農政局, 日進市	森圭子	
16. 愛知学院大学薬学部・瀬戸・尾張旭・長久手薬剤師会主催, 第8回薬局における健康フェア「骨粗鬆症を予防するための食事」	ミニレクチャー	2014年7月	薬学部連携プログラム, 尾張旭市	公衆栄養学ゼミナール学生, 森圭子	
17. 第5回地産地消に関する瀬戸市農産物活用調査検討会議	会議座長	2014年8月	瀬戸市	森圭子	
18. 第1回道の駅瀬戸しなの経営推進会議	会議座長	2014年8月	瀬戸市	森圭子	
19. 第1回「食と地域の交流促進等交付金」評価委員会	会議	2014年8月	東海農政局, 名古屋市	森圭子	
20. 管理栄養士養成大学における災害時の役割と非常食備蓄状況の検討	学会発表, (ポスター)	2014年8月	第61回日本栄養改善学会学術総会, 横浜市	森圭子	
21. 第2回「食と地域の交流促進等交付金」評価委員会	会議	2014年8月	東海農政局, 名古屋市	森圭子	
22. 平成26年度第2回東海農政局における農村振興施策に関する交付金評価委員会上矢作空き家活用推進地域協議会現地調査	会議, 現地調査	2014年9月	東海農政局, 恵那市	森圭子	
23. 第1回ナゴヤ版介護予防複合プログラム策定検討会	会議	2014年9月	名古屋市, 名古屋市社会福祉協議会	森圭子	
24. 第6回地産地消に関する瀬戸市農産物活用調査検討会議	会議座長	2014年9月	瀬戸市	森圭子	
25. 平成26年度名古屋市東保健所「介護予防事業」第2回「シニアのための楽々お食事サロン」	講話	2014年9月	名古屋市東保健所	森圭子	

渡邊智之

A (著書)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. カレント 社会・環境と健康：公衆衛生学	共著	2014年2月	建帛社	北田善三, 須崎尚, 大坪勇, 小川博, 岸本満, 近藤浩代, 坂口武洋, 武山英磨, 渡邊智之	第3章「健康, 疾病, 行動にかかわる統計資料」(pp.26-39)
B (論文)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. アルツハイマー病患者における時計描画の特徴—量的および質的評価による検討—	共著	2014年2月	臨床神経学, 54(2)	小長谷陽子, 小長谷正明, 渡邊智之, 鷺見幸彦	pp.109-115
2. 地域在住高齢者が新規要介護認定に至る要因の検討—4年間の追跡研究—	共著	2014年3月	日本老年医学会雑誌, 51(2)	小長谷陽子, 渡邊智之	pp.170-177
3. The factors that affect exercise therapy for patients with type 2 diabetes in Japan: a nationwide survey	共著	2014年3月	Diabetology International	S Arakawa, T Watanabe, H Sone, Y Tamura, M Kobayashi, R Kawamori, Y Atsumi, Y Oshida, S Tanaka, S Suzuki, S Makita, I Ohsawa, Y Sato	doi: 10.1007/s13340-014-0166-y

4. Early use of allogeneic hematopoietic stem cell transplantation for infants with MLL gene-rearrangement-positive acute lymphoblastic leukemia	共著	2014年 6 月	Lukemia	K Koh, D Tomizawa, A M Saito, T Watanabe, T Miyamura, M Hirayama, Y Takahashi, A Ogawa, K Kato, K Sugita, T Sato, T Deguchi, Y Hayashi, J Takita, Y Takeshita, M Tsurusawa, K Horibe, S Mizutani, and E Ishii	doi:10.1038/leu.2014.172
5. Prognostic implications of CEBPAmutations in pediatric acute myeloid leukemia: A report from the Japanese Pediatric Leukemia/Lymphoma Study Group	共著	2014年 7 月	Blood Cancer Journal	H Matsuo, M Kajihara, D Tomizawa, T Watanabe, AM Saito, J Fujimoto, K Horibe, K Kodama, M Tokumasu, H Itoh, H Nakayama, A Kinoshita, T Taga, A Tawa, T Taki, S Tanaka, S Adachi	doi:10.1038/bcj.2014.47
6. Acute myeloid leukaemia with myelodysplastic features in children: a report of Japanese Paediatric Leukaemia/Lymphoma Study Group (research paper)	共著	2014年 7 月	British Journal of Haematology	A Kinoshita, H Miyachi, H Matsushita, M Yabe, T Taki, T Watanabe, AM Saito, D Tomizawa, T Taga, H Takahashi, H Matsuo, K Kodama, K Ohki, Y Hayashi, A Tawa, K Horibe, S Adachi	doi: 10.1111/bjh.12993.
7. EVI1 overexpression is a poor prognostic factor in pediatric patients with mixed lineage leukemia-AF9 rearranged acute myeloid leukemia	共著	2014年 7 月	Haematologica	H Matsuo, M Kajihara, D Tomizawa, T Watanabe, AM Saito, J Fujimoto, K Horibe, K Kodama, M Tokumasu, H Itoh, H Nakayama, A Kinoshita, T Taga, A Tawa, T Taki, N Shiba, K Ohki, Y Hayashi, Y Yamashita, A Shimada, S Tanaka, S Adachi	doi: 10.3324/haematol.2014.107128
8. Improved treatment results of children with B-cell non-Hodgkin lymphoma: a report from the Japanese Pediatric Leukemia/Lymphoma Study Group B-NHL03 study	共著	2014年 7 月	Pediatric Blood & Cancer, 61 (7)	M Tsurusawa, T Mori, A Kikuchi, T Mitsui, S Sunami, R Kobayashi, T Takimoto, A Saito, T Watanabe, J Fujimoto, A Nakazawa, K Ohshima, K Horibe; lymphoma committee of Japanese Pediatric Leukemia/Lymphoma Study Group	1215-21

D (学会発表等)					
著書・論文等の名称	共著 単著	発表年月	発表雑誌等	編著・共著者	該当頁
1. Dual 生体インピーダンス法による腹部内臓脂肪蓄積測定の意義についての研究	学会発表	2013年10月	第63回日本体質医学会総会, 久留米	仲森隆子, 村田和也, 門口紅, 西浜康太, 金児竜太郎, 井田諭, 藤原僚子, 高橋宏佳, 渡邊智之, 佐藤祐造	
2. 戦後におけるがんの世代別影響—コホート生命表による分析—	学会発表	2013年10月	第72回日本公衆衛生学会総会, 津	渡邊智之	
3. 小児期の低線量放射線被曝によるがん死亡への影響—広島原爆被爆者データによる分析—	学会発表	2013年11月	第60回日本学校保健学会, 東京	渡邊智之, 後藤ひとみ, 福田博美, 宮尾克	
4. Poor prognosis with different induction rate was observed in children with acute myeloid leukemia and FLT3-ITD according to the ITD/WT ratio: a result from the Japanese Pediatric Leukemia/Lymphoma Study Group	学会発表	2013年12月	2013 American Society of Hematology (ASH) Annual Meeting and Exposition, New Orleans, LA, USA	A Shimada, Y Yamashita, D Tomizawa, A Tawa, T Watanabe, T Yokozawa, M Yamada, K Kudo, T Taga, S Iwamoto, K Terui, H Moritake, A Kinoshita, H Takahashi, H Nakayama, K Koh, H Goto, Y Kosaka, A Saito, J Fujimoto, K Horibe, K Oki, Y Hayashi, S Adachi	
5. Intensified Rituximab Induction Followed By Rituximab Maintenance For Low Grade B Cell Lymphoma: A Multicenter, Phase II Study	学会発表	2013年12月	2013 American Society of Hematology (ASH) Annual Meeting and Exposition, New Orleans, LA, USA	K Yamada, M Sawamura, T Shimomura, M Takeuchi, S Hanada, T Komeno, M Hidaka, T Yano, K Kitano, I Yoshida, N Inoue, K Horibe, T Watanabe, K Sunami, H Nagai	
6. 特定健診の追跡による問診票のリスク分析—服薬開始及び疾患罹患に関するハザード比を用いて—	学会発表	2014年1月	日本総合健診医学会第42回大会, 東京	稲坂博, 棚木充明, 山本楯, 横井隆, 伊藤宣夫, 吉田貴, 平光伸也, 志賀捷浩, 水上哲秀, 細川秀一, 城 義政, 池山真治, 関正己, 渡邊智之, 宮尾克	
7. 2型糖尿病患者における腹部内臓脂肪面積に及ぼす生活リズムに關与する生活習慣についての検討	学会発表	2014年5月	第57回日本糖尿病学会年次学術集会, 大阪	仲森隆子, 村田和也, 門口紅, 西浜康太, 金児竜太郎, 井田諭, 藤原僚子, 高橋宏佳, 渡邊智之, 佐藤祐造	
8. 小児期低線量放射線被曝によるがん死亡への影響—広島原爆被爆者データを用いて—	学会発表	2014年5月	第84回日本衛生学会学術総会, 岡山	渡邊智之, 後藤ひとみ, 福田博美, 本多隆文, 山田裕一, 宮尾克	

9. The prognostic relevance of the 2008 WHO classification of myeloid neoplasms in childhood acute myeloid leukemia	学会発表	2014年 6月	19th Congress of the European Hematology Association (EHA), Milan, Italy	A Kinoshita, H Miyachi, H Matsushita, M Yabe, T Taki, T Watanabe, AM. Saito, D Tomizawa, T Taga, H Takahashi, H Matsuo, K Kodama, K Ohki, Y Hayashi, A Tawa, K Horibe and S Adachi	
10.	座長	2014年 7月	第55回日本社会医学学会総会, 名古屋		
11. 服薬の有無別にみた特定健康診査の測定結果の縦断的検討—特定保健指導の基礎資料としての活用—	学会発表	2014年 9月	第55回日本人間ドック学会学術大会, 福岡	稲坂博, 池山真治, 渡邊智之, 平光伸也, 水上哲秀, 細川秀一, 城義政, 吉田貴, 志賀捷浩, 柵木充明	
12. 2型糖尿病患者の腹部内蔵脂肪面積に及ぼす生活リズムに關与する生活習慣についての検討	学会発表	2014年 9月	第64回日本体質医学学会総会, 大阪	仲森隆子, 村田和也, 門口紅, 西浜康太, 金児竜太郎, 井田諭, 藤原僚子, 高橋宏佳, 渡邊智之, 佐藤祐造	